

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870201336
法人名	株式会社シンコー
事業所名	ハートフルケアホーム あけぼの
所在地	今治市室屋町6丁目1-9
自己評価作成日	平成22年9月4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年9月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 日々その人らしい暮らしを重視し、一人一人のペースを大切に居心地よく暮らせるよう努めています。  
 1.「『自分や自分の親が入居したい』と思うようなホームに！」と、毎日気持ちのよい挨拶・明るく笑顔で接するよう努めています。  
 1.外部からのお客様にも『まるで家にいるような、ホッとします』と言って頂けるような”アットホーム”な雰囲気だと思えます。  
 1.出入り口をオープンにしており、自由に地域の方の来訪者があります。  
 1.ご家族様が自由に行き来できるホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「自分や自分の親が来たいグループホームにしたい。」を新しい理念に加え、自由に自分らしく暮らしてもらうことを目指している。玄関扉は施錠せず出入り自由になっているが、利用者からは「ここに帰ってくるとほっとする。」と言ってもらえ、職員はその言葉を励みにしている。職員は利用者を尊敬しよりよいケアを提供できるよう努力している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ハートフルケアホームあけぼの

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 越智美春

評価完了日 22年 9月 4日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 名前ホルダーに携帯し、理念を常に思い全員が共有し、日々実践につなげている。	
			(外部評価) 地域とのつながりが理念の中に入っていないとの評価を受け、職員で話し合い「地域とのつながり支援」と「自分や自分の親が来たいように」の理念を加え、名札の裏に書いていて管理者と職員は理念を共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 近所の店を利用したり、散歩がてら近所の保育所を訪問し地域の方々と交流できるよう努めている。「お姉さんちょっとかまん？」と隣の独居の方が度々来設して下さい。	
			(外部評価) 自治会には未加入だが、近くの乳児保育所を散歩コースの中に加え顔なじみの人と挨拶を交わす関係はできてきている。防災訓練に来てくれた人の中から3人が災害時の緊急連絡網の中に入れてくれるなど少しずつではあるが地域とのつながりが広がってきている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 近所の散歩・保育所・八百屋さん・スーパー・理髪店等、地域の中へと関わりを少しずつ広げている。また、玄関前での体操・洗濯干し・ゴミ拾い・買い物等、一緒に活動している姿を地域の人々に発信できている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 意見や情報提供・提案等して頂き、取り上げたり即 実践出来る事は行いよりよいサービス向上に努めている。 色々な職員が参加する事により直接家族の方々の声 が聞ける場として日々の対応について考え直しができ る。	
			(外部評価) 多方面からの意見をもらうために参加を呼び掛けてみ たが、日程が合わない等調整が難しく思うように進ん でいない。家族や民生委員からは意見が出るようにな り、市の関係者は必ず出席してくれている。	いろいろな意見を貰うためには、メンバー構成は大切 な要因である。様々な立場の方に参加してもらう事は 容易ではないことは理解できるが、サービス向上のた めの取組みとして努めることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市高齢介護課職員さんに報告・相談し、意見・情報 を頂いている。	
			(外部評価) 部長は市の高齢介護課係長の所へ直接出向き様々な相 談ができる関係を築いており、最近ではスプリンク ラーについての相談を行っている。包括センターの職 員も来所してくれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中玄関ドアの開放し、誰でも自由に入出入り出来る ようにしている。自分が言われたり、されたら嫌な事 はしない事を徹底している。研修会をし全職員が理解 し、日々振り返り、身体拘束をしないケアに取り組ん でいる。	
			(外部評価) 身体拘束はしないことを基本としている。玄関の鍵は いつも開けている。研修に参加した職員はレポートを 作成し、それを職員全員が回覧し捺印するようにして いる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会へ参加・学習し、全職員が学ぶ機会をもっている。また、管理者・職員が都度話し合い虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会へ参加・学習し、全職員が学ぶ機会をもっている。入居者さんが成年後見制度を利用しているので色々勉強になっている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に施設見学（遊びがてら）、お茶を飲んで頂いたり雰囲気を感じて頂いている。契約時、家族・本人の思い、不安要望を聞き理解・納得して頂けるよう説明している。また、解約時も段階を追い、よく話し合いをし、納得して頂けるようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時にご家族の意見や要望等お伺いさせて頂き、施設長に報告している。意見・要望は、都度申し送りノートで全職員が把握できるようにしている。	
			(外部評価) 家族の面会時等に意見や要望を聞くようにしている。何でも言ってもらえるような雰囲気作りに心掛けている。意見箱は設置していたが、直接言ってくれるため、入ることがなく今は撤去している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年2回アンケートをとったり、都度管理者と話し合う機会を設けている。  (外部評価) 施設長は職員に何でも言うように声かけをし、意見に耳を傾けている。年1回面接を行いアンケートも取っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 向上心を持って働けるよう、話し合いをし納得して勤務できるような職場環境になるよう努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部研修（全員一度に集まれないので、資料閲覧・レポート提出）、個々に助言、指導等し、1人1人の資質向上に努めている。また、外部研修参加の確保をしている。参加職員からの情報提供（レポート提出）・資料配布も行っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 県GH協会の相互研修参加、外部研修時他施設職員との情報交換・交流を図り資質向上に努めている。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人の安心感・納得がいく生活が送れるよう時間をかけて、思い等聴き話し合い、よりよい関係作りができるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族等に、時間の許す限り困り事・不安・要望をよく聴き（話し易い雰囲気作りに努め）信頼関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族様から出来るだけ詳しく情報収集し、必要としている支援を見極め、対応できるように努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 「家にいるよう」に日常生活が出来るよう、自然にさりげなく対応・支援し、共に過ごしあえるより良い関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族さんとの外出・外泊、面会等、日時・時間等ご家族様の都合に合わせて、協力して頂いている。また、家族様と一緒に過ごされた時の様子等帰設時に聴くようにしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 奥様への面会同行、自宅への帰宅同行、家族との墓参り、外泊、馴染みの散髪屋、手紙（写真つき）の返信（自身に一言でも書いて頂く）等関係が途切れないよう努めている。  (外部評価) ドライブで家の近くを通ったり、近くに家のある利用者は散歩がてら帰ったりしている。利用者の友達や知人が気軽に立ち寄ってくれることもあり、馴染みの関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者様1人1人に合わせた席の配置、利用者様同士の関係を把握し、同テーブル・隣席同士で世間話をしたり、作業・レク等利用者様同士のよりよい関係作りに努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された時はお見舞い、年賀葉書を出したり、どこかでお会いした時は、近況を聞く等関係性を大切にしている。家族様から野菜等頂く事もある。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりで、ご本人が発した言葉・行動・思い等の気づきを記録、センター方式（c-1-2シートを年2回、職員・家族様にも記入して頂く）の活用をし、全職員が要望・意向を把握できるよう努めている。  (外部評価) 全職員が年2回センター方式で確認し合っている。入居時に家族から詳しく聞き取りをし、年1回のできることできないことシート更新の時、家族に改めて訊ねている。本人が言ってくれたり、会話の中で出たことを記録している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族様より情報収集しご本人の望む暮らしが出来るよう努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) バイタルチェック・生活記録・支援経過・申し送り等、日々の些細な変化等も見逃さないよう、現状の把握に努めている。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人・家族様の意見を聞き、職員全員が個々のモニタリング作成・話し合い介護計画を作成している。	
			(外部評価) 担当制を導入しているが、担当者以外からも色々な意見が出されている。24時間シートを活用しながらモニタリングし、申し送りの時に追加している。それぞれの職員が自分たちでもケアプランを考えたり、勉強会もしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 生活記録・支援経過・個々の会議(記録)・申し送り等にて、職員間で情報の共有をし実践・介護計画書の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) ご本人・ご家族の状況・希望に応じて、外出・通院介助・地域の行事への参加等、柔軟な支援に取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 近所のコンビニ・八百屋さんでの買い物、散髪、運動会参加、近所の乳児所への散歩をしたり、毎月フラダンス・踊りのボランティアさん(入居者様、職員も一緒に踊り)の来設を楽しみにされている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご本人・ご家族様の希望を大切に医療機関を決めて 頂いている。施設の協力医療機関をかかりつけ医にさ れている入居者様は管理者同行で都度医師と相談して いる。体調不良時は、施設の協力医療機関で適切な医 療を速やかに受けられるよう支援している。  (外部評価) かかりつけ医の受診は基本的に家族に介助してもらっ ているが、協力医療機関を利用する人も多い。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護師の配置はないが、職員は普段と違う「気づ き」を速やかに管理者に報告し、かかりつけ医に相 談・受診できるよう支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 家族・医療機関と情報交換・相談し、安心して治療 できるようしている。早期退院・対応できるよう家 族・医療機関と連携を行っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化や終末期に向けた方針については契約時に家 族に説明している。 状態の変化に応じて早い段階から、都度ご本人・ご家 族様と話し合い事業所として出来る所まで対応してい る。  (外部評価) 機械浴の設備がないので歩けなくなったり、医療が必要 になったら当ホームでの生活は難しいと考えてい る。早期に家族と話し合い、重度化に対応できる施設 の紹介や病院など探すようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的には行っていない。 緊急時対応マニュアルを読み実践力が身につくように努めている。また、救命救急講習会に参加しているが、受講できていない職員の参加を考えていきたい。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 月1回、夜間・日中想定訓練を行っている。 民生委員さんのご協力により地域の方々参加の訓練も行う事が出来た。また、火災通報装置(自動通報先)に3軒の方に協力頂け、地域との協力体制も築けている。 (外部評価) 消防署の講習に3人で行ったり、夜間を想定して避難訓練を試みたが、予想以上に困難で何度も積み重ねることの大切さを感じている。災害訓練に協力してくれた近所の人3軒が緊急連絡網の中に入れてくれたのは大きな進歩である。	台所の横にある玄関以外避難口がないので改善の検討を期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人格を尊重し、プライドを傷つけないよう、理念の中にある『やさしい』言葉がけに努めている。 (外部評価) 管理者は職員に「自分だったら…と常に考えて」と指導している。やさしい声かけを心掛け、排泄介助や入浴介助の時は特に気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご本人の意向・主張を聞きながら、その人らしく・その人のペースで生活できるよう支援している。言葉に出しにくい方は、表情や行動から思いを組と取れるように日々の関わりを大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合や忙しさを理由にせず一人一人のペースを大切にし、できるだけ希望に沿うようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 髭剃り・ブラッシングの声かけし身だしなみに興味をもっていただくようにしている。 その日の服を自身で選んだり、外出前に着替えたり、整髪されたりしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人に合わせて下ごしらえ・テーブル拭き・下膳・食器洗いなど行って頂いている。 職員も同テーブルで会話もしながら楽しく食事をしている。	
			(外部評価) 管理者が玉川町の有人市へ利用者とドライブがてら野菜など食材を買いに行き、その食材で調理専門の職員が全部手作りしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量（主食・副食）・水分量（1500cc/1日）の記録し確保できるよう努めている。食事量・水分量の少ない方は、かかりつけ医よりエンシュア（栄養ドリンク）を処方して頂いている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 朝・昼食後、眠前と見守り・介助にてご本人の力に応じた口腔ケアを行っている。義歯・自歯の手入れは十分に行うがいもきちんとして頂き、清潔に努めている。 ポリデント毎晩し、義歯は朝まで外している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) チェック表をつけ一人一人の排泄パターンをつかみ、2～3h毎のトイレ誘導を行っている。また表情・言葉・行動から感じとりさりげなく誘導し、自立にむけた支援を行っている。	
			(外部評価) 排泄チェック表をもとに、利用者が出すサインや時間の間隔などにも気をつけながらさりげなく誘導している。夜間は睡眠の妨げにならないよう様子を見ながら誘導したり、紙パンツやパットを交換するようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 繊維の多い食物（野菜・バナナ・ヨーグルト）、水分（牛乳・野菜ジュース）摂取、運動、腹部マッサージ等個々にあわせた支援を行っているが、服薬が必要な方もいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 午後からご本人の希望やタイミングで個々に応じた入浴を楽しまれている。入浴中はゆっくり会話できる時間なのでコミュニケーションを図り、ご本人の思いを知ることが出来る。体調不良時以外毎日入浴して頂いている。	
			(外部評価) 毎日の入浴を基本としており、プライバシーと安全に配慮しながら入浴支援を行っている。中には利用者同志と一緒に入ることもあり、楽しく入浴できるよう工夫している。入浴後の水分補給にも気を使っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 居室・畳の間・ソファ等、一人一人思い思いにくつろげる場所で休息したり、横になったりして過ごされている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を個々のファイルにつけ全職員が解るようにしている。変更・追加・中止時は申し送り・申し送りノートで把握できるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家族了承にて喫煙（煙草・ライター職員管理希望時喫煙）、一人一人の生活歴や力を活かし日常生活での役割、音楽を聴く・唄う、レクリエーション、買い物、外食、ドライブ等気分転換、楽しみのある日々が過ごせるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 自宅へのドライブ・買い物・散髪・奥様への面会（他施設）等個々の希望で外出支援行っている。また、家族様にも外出・外泊等希望にあわせ協力して頂いている。家族様と相談しGPSをつけ、本人希望時は一人で散歩・買い物外出されている。	
			(外部評価) 散歩で近くの乳児保育所に行き、子どもとふれあう機会を設けており利用者の楽しみとなっている。外の空気に触れるために公園や海など様々な所にドライブへ出かけている。以前に住んでいた家の前などへドライブすることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族様と相談し、本人が財布（1000円以下）を持ち、近所のコンビニ・八百屋に行き買い物されている。職員同行で買い物時も本人に財布を渡し、自身で支払いされる事もある。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時、自由に電話をかけてもらっている。手紙が届いた時は写真を添え、個々に応じて（本人に一言でも書いてもらっている）宛名・文面をかいて頂き返信している。年賀状・暑中見舞い等も送っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングに季節の花・季節のちぎり絵・写真を飾ったり、セタの飾りつけを一緒にし季節を感じて頂けるようにしている。照明は太陽の光を大切にし、窓の開閉をして外気を取り入れ心地よく過ごせるよう工夫している。	
			(外部評価) 利用者と職員が一緒に制作した、季節の飾り付けが飾られている。玄関前の廊下に設置されたセンサーが作動してチャイムが鳴り続ける状態が見受けられる。	チャイムの必要性を職員全員で再検討することを期待したい。2階の事務所等の機能が損なわれる可能性がある場所についての整理や配置の変更を望みたい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フローア・居室・ソファ・畳・パートナールーム・玄関ベンチ、その時過ごしたい場所で思い思いに過ごしていただけるようにしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時「自分の家にいるのと同じ様に、使い慣れた物を」とお願いしている。写真・ぬいぐるみ・時計・TV・畳等、ご本人・ご家族様が相談され居心地よく過ごせるような工夫をされている。	
			(外部評価) 自分の好みの物や使い慣れた物を持ち込んだり、家族の写真が貼ってあったり、それぞれに居心地のいい居室作りができています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 居室入り口の名札・写真、トイレの表示を目線に合わせる、通路の表示、リビングの日めくりカレンダー、「夜は電気を消さないでね」等、個々の力に合わせた工夫をしている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870201336
法人名	株式会社 シンコー
事業所名	ハートフルケアホーム あけぼの
所在地	今治市室屋町6丁目1-9
自己評価作成日	平成 22 年 9 月 4 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成22年9月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>1.健康・清潔保持・感染予防に気をつけ毎日入浴している。</p> <p>1. ストレス・気分転換のため、買い物・ドライブ・外食等に行っている。</p> <p>1.自分や自分の親が来たいと思えるホームに！を目指している。</p> <p>1.近隣(地域)の方々に気軽に立ち寄ってもらえ信頼関係やなじみの関係を作り、地域との繋がりを築いていけるよう目指している。</p> <p>1.</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「自分や自分の親が来たいグループホームにしたい。」を新しい理念に加え、自由に自分らしく暮らしてもらうことを目指している。玄関扉は施錠せず出入り自由にしているが、利用者からは「ここに帰ってくるとほっとする。」と言ってもらえ、職員はその言葉を励みにしている。職員は利用者を尊敬しよりよいケアを提供できるよう努力している。</p>
---

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ハートフルケアホーム あけぼの

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 越智 美春

評価完了日 22年 9月 4日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 常に名札の裏に理念を携帯しており、日々自分自身を振り返り、実践につなげている。また、地域の方に理解していただける様、地域との繋がりが築いていけるよう心がけている。</p> <p>(外部評価) 地域とのつながりが理念の中に入っていないとの評価を受け、職員で話し合い「地域とのつながり支援」と「自分や自分の親が来たいように」の理念を加え、名札の裏に書いていて管理者と職員は理念を共有している。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 日中玄関のドアをオープンにし、誰にでも気軽に立ち寄って頂けるようにしている。散歩時には保育所で交流させて頂いたり、近所の独居の方がいつでも気軽に来設できるようにしている。月1回フラダンス・踊りの方が来設して下さい。一人で外出された入居者さんがいると、言いに来て下さる。</p> <p>(外部評価) 自治会には未加入だが、近くの乳児保育所を散歩コースの中に加え顔なじみの人と挨拶を交わす関係はできてきている。防災訓練に来てくれた人の中から3人が災害時の緊急連絡網の中に入れてくれるなど少しずつではあるが地域とのつながりが広がってきている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 近所のスーパー・コンビニ・八百屋・散髪屋の利用、近所の保育所訪問等し地域の方々と関わる機会が増えてきている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 色々な職員が会に出席している。活動・状況報告を し意見交換をして、ご家族様・地域の方・包括セン ター職員さんの意見・思い等聴く機会がある。出席して いない職員は会議録で内容の把握をし全員が共有しサ ービス向上に努めている。	
			(外部評価) 多方面からの意見をもらうために参加を呼び掛けてみ たが、日程が合わない等調整が難しく思うように進ん でいない。家族や民生委員からは意見が出るようにな り、市の関係者は必ず出席してくれている。	いろいろな意見を貰うためには、メンバー構成は大切 な要因である。様々な立場の方に参加してもらう事は 容易ではないことは理解できるが、サービス向上のた めの取り組みとして努めることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市高齢介護課の職員さんに相談・報告を行い、意 見・情報を頂いている。	
			(外部評価) 部長は市の高齢介護課係長の所へ直接出向き様々な相 談ができる関係を築いており、最近ではスプリンク ラーについての相談を行っている。包括センターの職 員も来所してくれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中玄関のドアをオープンにし、自由に出入りでき るようにしている。全員が正しく理解とは言えない が、年1回アンケートをとり日々の業務を振り返った り、社内研修をし、全職員が学ぶ機会がある。	
			(外部評価) 身体拘束はしないことを基本としている。玄関の鍵は いつも開けている。研修に参加した職員はレポートを 作成し、それを職員全員が回覧し捺印するようにな している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加したり、日常の声かけや対応について疑問に思う事があれば、職員会議で意見交換し、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加したり、社内研修し学ぶ機会がある。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、家族・本人の思い・不安・要望を聞き理解・納得して頂けるよう説明している。 解約時も、要望をよく聞き、話し合い納得して頂けるよう説明している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 電話・面会時にご家族様から聞いた意見は、申し送りや申し送りノートで全員が共有し運営に反映できるようにしている。また、推進会議等で議論することもある。  (外部評価) 家族の面会時等に意見や要望を聞くようにしている。何でも言ってもらえるような雰囲気作りに心掛けている。意見箱は設置していたが、直接言ってくれるため、入ることがなく今は撤去している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年2回アンケートをとっている。 もし送り時、業務の中でも意見や提案を聞く機会を設けている。  (外部評価) 施設長は職員に何でも言うように声かけをし、意見に耳を傾けている。年1回面接を行いアンケートも取っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 気持ちよく仕事ができるよう気遣ってもらっている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の希望を聞き参加出来るようにしている。参加した職員からの情報提供・資料配布も行っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 相互研修会へ参加し、他施設との交流、研修を通じ施設と情報交換できるよう取り組んでいる。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前に見学して頂、本人の困り事・不安・要望を聴き安心して生活ができる関係作りに努めている。入居時C-1-2シートを家族様に記入して頂き、本人の要望等把握するようにしている。利用開始後、本人との会話の中から困り事・不安・要望を聴き安心して生活できるよう関係作りに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前困り事・要望・不安をよく聴くようにしている。入居直後C-1-2記入して頂き要望等把握するようにしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人・家族と面接を行い、何が最良の支援であるか話しあい検討し対応している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の思うような生活が出来、それぞれが力を発揮できるよう場面場面で協力して頂き、共に支えあいながら生活できるような関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族さんとの外出・外泊等家族さんに協力してもらっている。家族さんと過ごされた時は、帰設時家族さん、本人に様子を聴いている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 来設して下さる馴染みの方を大切に、時折ハガキを出したり電話をかけたりにしている。また昔から馴染みの美容室や時計屋に行ったりされ、関係が途切れないよう努めている。  (外部評価) ドライブで家の近くを通ったり、近くに家のある利用者は散歩がてら帰ったりしている。利用者の友達や知人が気軽に立ち寄ってくれることもあり、馴染みの関係が継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 一緒に作業する時間をさりげなく設けて孤立しないように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された方へお見舞いに行ったり、必要に応じ相談等の支援も行っている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 希望を尊重し本人の思い近づけるよう支援している。困難な場合は表情や動作から気持ちを汲み取り意向の把握に努めている。	
			(外部評価) 全職員が年2回センター方式で確認し合っている。入居時に家族から詳しく聞き取りをし、年1回のできることできないことシート更新の時、家族に改めて訊ねている。本人が言ってくれたり、会話の中で出たことを記録している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時のアセスメント、サービス開始後も本人・家族・関係者からの情報をもとに生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その日の体調を把握し気持ち等の落ち着き具合を見極めて対応するよう心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 担当職員は決まっているが、職員全員が個々のモニタリング・プラン作成し話しあって介護計画書を作成している。	
			(外部評価) 担当制を導入しているが、担当者以外からも色々な意見が出されている。24時間シートを活用しながらモニタリングし、申し送りの時に追加している。それぞれの職員が自分たちでもケアプランを考えたり、勉強会もしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 生活記録・支援経過等記入し全員が情報を共有し、日々の実践や介護計画の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人・家族の状況に応じ、外出・通院・外泊等柔軟な支援ができるよう取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 買い物・散髪・運動会・敬老会に出かけたり、毎月フラダンス・踊りのボランティアさん(入居者様、職員も一緒に踊り)が来設され楽しまれている。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご本人・ご家族様の希望を大切に医療機関を決めて 頂いている。施設の協力医療機関をかかりつけ医にさ れている入居者様は管理者同行で都度医師と相談して いる。体調不良時は、施設の協力医療機関で適切な医 療を速やかに受けられるよう支援している。  (外部評価) かかりつけ医の受診は基本的に家族に介助してもらっ ているが、協力医療機関を利用する人も多い。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護師の配置はないが、職員は普段と違う「気づ き」を速やかに管理者に報告し、かかりつけ医に相 談・受診できるよう支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 家族・医療機関と情報交換・相談し、早期退院でき るよう努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 契約時に説明している。また、心身の状況に応じ早 い段階からホームで出来る事・無理な事を利用者・家 族に説明し、で出来る所までの対応はしている。  (外部評価) 機械浴の設備がないので歩けなくなったり、医療が必要 になったら当ホームでの生活は難しいと考えてい る。早期に家族と話し合い、重度化に対応できる施設 の紹介や病院など探すようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) すべての職員が応急手当・初期対応の講習を受講できていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 月1回、夜間・日中想定訓練を行っている。 民生委員さんのご協力により地域の方々参加の訓練も行う事が出来た。また、火災通報装置(自動通報先)に3軒の方に協力頂け、地域との協力体制も築けている。 (外部評価) 消防署の講習に3人で行ったり、夜間を想定して避難訓練を試みたが、予想以上に困難で何度も積み重ねることの大切さを感じている。災害訓練に協力してくれた近所の人3軒が緊急連絡網の中に入れてくれたのは大きな進歩である。	台所の横にある玄関以外避難口がないので改善の検討を期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 人格を尊重し自尊心を傷つけないよう声かけや対応に気をつけるよう、場面場面で振り返ったり、ミーティングで周知している。また、職員自身の心身の体調管理に気をつけ、イライラしない対応が出来るよう努力している。 (外部評価) 管理者は職員に「自分だったら…と常に考えて」と指導している。やさしい声かけを心掛け、排泄介助や入浴介助の時は特に気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人が意思表示しやすい環境作りに努めている。また、言葉を出しにくい入居者さんは表情や行動で表出しやすいように日々のかかわりを大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々のペースを大切に出来る限り希望にそった支援をしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 家族さんと馴染みの美容室へ行ったり、自身で服を選びおしゃれを楽しんでいる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえから片付けまで個々にあった支援をしている。一人がしているといつも参加されない入居者さんも一緒に手伝ってくださり、入居者さん同士のかかわりも持つ事が出来ている。職員も同テーブルで会話をしながら食事をしている。	
			(外部評価) 管理者が玉川町の有人市へ利用者とドライブがてら野菜など食材を買いに行き、その食材で調理専門の職員が全部手作りしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量(食事にかかった時間)・水分量を個別記録している。個々に合わせた食事の形態・介助を行い栄養摂取に偏りがないよう気をつけている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々に合わせ毎食声かけ、介助行っている。毎晩ポリデント洗浄行っている。状態に応じて歯科受診もしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) チェック表に記入し排泄パターンを把握している。個々に合わせ時間誘導し、トイレでの排泄をして頂き、一日気持ちよく過ごせるよう支援している。	
			(外部評価) 排泄チェック表をもとに、利用者が出すサインや時間の間隔などにも気をつけながらさりげなく誘導している。夜間は睡眠の妨げにならないよう様子を見ながら誘導したり、紙パンツやパットを交換するようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分量は1日1,300～1,500cc摂取、野菜ジュースや繊維の多い食事を摂る様にし毎日リハビリ・体操・散歩(気候のいい時)している。便秘時は冷たい牛乳を飲んで頂いたり、腹部マッサージや腹圧をかけたたり等便秘解消に努めているが服薬が必要な方もいる。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴は午後からで、個々の希望やタイミング・状態にあわせて入浴されている。入浴中は会話し楽しくゆったり入浴されている。特別な理由がない限り全員ほぼ毎日入浴されている。	
			(外部評価) 毎日の入浴を基本としており、プライバシーと安全に配慮しながら入浴支援を行っている。中には利用者同志と一緒に入浴することもあり、楽しく入浴できるよう工夫している。入浴後の水分補給にも気を使っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 自席・自室・ご主人の部屋・畳・TV前ソファ・廊下のソファ・玄関の椅子等本人の思う場所で過ごしていただいている。夜間眠れない時は一緒にお茶を飲みながら傾聴したり、TVを観たり安心して眠れるよう対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋をファイルにつけ把握できるようにしている。変更・追加時は申し送り・申し送りノートで全員が把握できるようにしている。また、服薬支援(時に介助)行っており、症状に変化が見られる時は早く報告するよう努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の生活歴をしり、それぞれが活躍できる場面作りをし、自ら手伝って下さる。また、買い物・ドライブ・飲酒・外食等楽しみ事、気分転換の支援をしている。最近では殆どの入居者さんが「今日は何処か行かん?」とドライブを楽しみにされている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人希望で、散髪・眼鏡や時計修理・散歩等一人で外出されている方もいる。また、家族さんが来られた時は外食・帰宅・散髪・お墓参り等に出かけられている。	
			(外部評価) 散歩で近くの乳児保育所に行き、子どもとふれあう機会を設けており利用者の楽しみとなっている。外の空気に触れるために公園や海など様々な所にドライブへ出かけている。以前に住んでいた家の前などへドライブすることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族さんと相談し希望があれば預かり金を本人に渡すときもある。個々の力に応じ買い物時財布を渡し、支払いをして頂く事もある。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時電話かけていただいている。手紙が届いた時は手紙(宛名も)を書いてもらい、直近の写真も添付している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 玄関・リビングには季節の花を壁にはその月にあった貼り絵、写真等より生活感や季節感が感じられるようにしている。窓の開閉をし外気を入れるようにしたりカーテンを開け日照の光を入れるようにし居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> <p>(外部評価) 利用者と職員が一緒に制作した、季節の飾り付けが飾られている。玄関前の廊下に設置されたセンサーが作動してチャイムが鳴り続ける状態が見受けられる。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) リビングにはソファ・畳・廊下には椅子を置き一人になれたり、入居者さん同士で思い思いに過ごせる場所がある。また、ベランダに出て外気を吸い息抜きをされている方もいる。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 自宅にいるのと同じように、本人・家族さんが居心地よく過ごせるように、入居時に「使い慣れた物を」とお願いしている。TV・写真・ぬいぐるみ・机・椅子等・・使い慣れた物や好みの物をもって来られている。</p> <p>(外部評価) 自分の好みの物や使い慣れた物を持ち込んだり、家族の写真が貼ってあったり、それぞれに居心地のいい居室作りができています。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 居室入り口の名前・写真、トイレの表示、常時使用する物は配置を換えないよう安心・安全に生活できるようにしている。</p>	